



Kagoshima Bank

# News Release

2024年3月29日

## 県内景況

株式会社 鹿児島銀行

株式会社 九州経済研究所

最近の県内景況は、消費関連が回復し、観光関連がやや持ち直している。一方、雇用情勢は横ばい、畜産関連、投資関連が弱含み、生産活動が低調となっている。足元では、コロナ5類引き下げによる社会経済活動が再開し、全体として回復傾向が続いているものの、物価上昇の影響がみられる。

生産活動は、12月の鉱工業生産指数が18か月連続で前年を下回った。食料品は前年をやや上回り、窯業・土石製品、電子部品・デバイス、電気・情報通信機械は前年を下回った。

畜産関連では、2月の肉用牛（和牛）枝肉価格は、去勢A4、去勢A3、豚肉が前年を上回った。一方、ブロイラーもも肉、むね肉、鶏卵相場はいずれも前年を下回った。

個人消費関連は、1月の家電大型専門店販売額、2月の乗用車新車登録台数、軽自動車届出台数は前年を下回った。一方で、1月のコンビニエンスストア販売額は前年をやや上回り、1月の百貨店・スーパー販売額とドラッグストア販売額は前年を上回った。

観光関連では、2月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は、4か月ぶりに前年を上回り、種子島・屋久島地区は2か月連続で前年を上回り、奄美地区は5か月ぶりに前年を上回った。主要観光施設入場者数は、ほとんどの調査対象施設で前年を上回った。

投資関連では、公共工事請負金額、民間建築工事費予定額、新設住宅着工戸数のいずれも前年を下回った。

雇用情勢は、1月の有効求人倍率は前月を0.02ポイント上回る1.18倍となった。

はじめよう、あたらしいコト。

鹿児島銀行

## 【生産活動】... 低調

電子部品関連は、5G関連の需要が回復しない一方、スマホ向けなどでは底打ちの動きもみられる。

1月の焼酎生産は、4か月連続で前年を上回り、出荷量は3か月ぶりに前年を上回った。

12月のかつお節生産は、15か月連続で前年を上回った。

2月の生コン生産（出荷量）は、公共工事向けが6か月連続で前年を上回り、民間工事向けは5か月連続で前年を下回り、全体では2か月ぶりに前年を下回った。

2月の紙パルプ生産は、ほぼ前年並みとなった。

木材関係は、スギの製品相場が前年を下回った。

## 【畜産関連】... 弱含み

2月の子牛の出荷頭数、価格ともに前年を下回った。2月の肉用牛（和牛）の枝肉価格（東京食肉市場）は去勢A4が3.0%増、去勢A3が5.5%増とともに3か月連続で前年を上回った。1月の枝肉生産量は前年を上回った。

2月の豚肉相場（東京食肉市場・上）は1.0%増と5か月ぶりに前年を上回った。1月の枝肉生産量は前年を上回った。

2月のブロイラー相場（東京地区）は、もも肉は12.9%減と6か月連続で前年を下回り、むね肉は7.1%減と4か月連続で前年を下回った。2月の処理羽数は前年を上回った。

2月の鶏卵相場（JA全農・東京M）は41.9%減と4か月連続で前年を下回った。1月の配合飼料価格は7か月連続で前年を下回った。

## 【消費関連】... 回復

1月の百貨店・スーパー販売額は、衣料品は前年を下回ったものの、飲食料品が前年をやや上回り、全体では2か月ぶりに前年を上回った。

1月の専門量販店販売額は、家電大型専門店は前年を下回り、コンビニエンスストアは前年をやや上回り、ドラッグストアは前年を上回った。

2月の乗用車新車登録台数は、2か月連続で前年を下回った。車種別にみると、普通車は4.2%増、小型車が27.3%減となった。

2月の軽自動車届出台数は3か月連続で前年を下回った。一部メーカーの認証不

正による出荷停止の影響があった。

### 【観光関連】... やや持ち直し

2月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は、4か月ぶりに前年を上回った。台湾、香港、中国などからの入り込みや団体客が増加した。

鹿児島地区は、中部、韓国、中国、香港などからの入り込みや個人客、団体客ともに増加し、3か月ぶりに前年を上回った。

霧島地区は、九州などからの入り込みや個人客が減少し、3か月連続で前年を下回った。

指宿地区は、関西などからの入り込みや団体客が減少し、2か月ぶりに前年を下回った。

種子島・屋久島地区は2か月連続で前年を上回り、奄美地区は5か月ぶりに前年を上回った。

2月の主要観光施設入場者数は、ほとんどの調査対象施設で前年を上回った。

### 【投資関連】... 弱含み

2月の公共工事は、件数、請負金額ともに前年を下回った。

1月の民間建築工事着工は、棟数は前年を上回ったものの、床面積、工事費予定額は前年を下回った。

1月の新設住宅着工戸数は、分譲が前年を上回ったものの、持家、貸家が前年を下回り、全体では2か月連続で前年を下回った。新設住宅着工戸数の合計の3か月移動平均は前年をやや上回り、0.9%増となった。

12月の主要建設資材卸売業者の売り上げは、2か月連続で前年を上回った。

### 【貿易関連】... 輸出額は前年を上回った一方、輸入額は前年を下回った

1月の輸出額は、食料品および動物が前年を下回ったものの、パルプおよび古紙、ゴムタイヤおよびチューブ、木材が前年を上回り、全体では17.2%増と4か月連続で前年を上回った。輸入額は、原油および粗油、穀物および同調製品が前年を下回り、全体で20.6%減と2か月連続で前年を下回った。

### 【雇用情勢】... 横ばい

1月の有効求人倍率は前月を0.02ポイント上回る1.18倍となった。県内求人数を業種別にみると、卸小売は前年を上回り、製造業、建設業、医療・福祉は前年を下回った。

### 【金融情勢】... 貸出金残高は前年を上回った

1月の県内金融機関の貸出金残高は前年を0.8%上回った。

### 【企業倒産】... 倒産件数は前年を下回った

2月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が6件で前年同月（8件）を11か月ぶりに下回った。一方、負債総額は12億20百万円で前年同月（4億3百万円）を大幅に上回った。

以上

【本件に関するお問い合わせ】 ㈱九州経済研究所（TEL 099-225-7491）